好評につき再上演決定！

3月のおおぶ映画祭2021に向けて、大府で撮影された映画「スイッチバック」を再び上映！

※上映後に大府市の中学生キャストによる舞台挨拶あり

2020.11.29日

13:30～15:30（13:00開場）

愛三文化会館　もちのきホール

全自由席／定員400名

入場料　前売500円　当日700円
（小学生無料）

※未就学児入場不可
※小学生の無料チケットは愛三文化会館まで（要申込）
※前売で定員に達した場合、当日券の販売はありません。

11月5日㊍よりチケット発売

チケット取扱窓口	・愛三文化会館	8:45～
	・大府市役所2F文化振興課※平日開庁時間内	8:30～
	・石ヶ瀬会館（ミューいしがせ）	9:00～
	・おおぶ文化交流の杜	9:00～
	・KURUTOおおぶ	10:00～
電話予約	・愛三文化会館　11月5日㊍13:00～受付開始 ※受付時間　9:00～17:00 ※電話予約後、10日以内に愛三文化会館窓口にてチケット代をお支払いください。 10日過ぎるとご予約は取り消されます。	

※車椅子席をご希望の方は愛三文化会館窓口まで。
※駐車場に限りがありますので乗り合わせまたは公共交通機関でお越し下さい。

新型コロナウイルス感染症対策のためのお願い

・館内ではマスクの着用、入場前に検温と手指消毒（手洗い）をお願いいたします。
・当日検温時に発熱（37.5度以上）及び頭痛や咳などの症状がある場合はご入場いただけません。
・ソーシャルディスタンス確保のため座席の間隔を空けてお座りいただきますので、ご了承ください。

主催：おおぶ映画祭運営事務局、Future Cinema Project、愛三文化会館、大府市　　お問い合わせ：おおぶ映画祭運営事務局（愛三文化会館内）0562-48-6151

ロケ地、大府。主演、大府の中学生。

あらすじ

とあるワークショップをきっかけに集まった14歳の子供たち。両親が外国籍のアルハムとチエミ、日本人家庭の紗花と英一郎は同じチームになり行動を共にすることになるが、、、。
様々な考え方を持つ大人たちに翻弄されつつ、知らなかった街の歴史に触れ、変わりゆく街の景色を彷徨うなかで近くて遠い隣人をより深く理解しようとするその一歩を描く。演技経験のない大府市在住の中学生たちを主演に迎えた長編映画。

大府から、世界へ

大府のまちなみ、大府の自然。そして映画のカギとなる“かつて大府にあった飛行場”。
「スイッチバック」に描かれるのは、大府の現在、過去、さらに子どもたちの未来。それはつまり、今まで誰も見たことがない、大府の新たな一面と言えるでしょう。
ワクワクしながらも深く考えさせられる良質な作品として、大府のみならず、全国、世界での上映や映画祭へのエントリーを視野に入れています。単なる「まちえいが」の域を超え、大府から映画界へ一石を投じる作品になると確信しています。

描かれたのは大府の現在、過去、さらに子どもたちの未来。

【大府の子どもたち】

バット アルハム　フレイレ チエミ　内海紗花　シバタ ルアン　林田実樹　中村梨星　中村結愛　小川公々奈
網岡諒真　廣瀬菜都美　市川智也　高場大貴　レー テー セン　相羽正康
入江崇史

監督・脚本：岩田隼之介　企画：岩田隼之介、辻卓馬　プロデューサー：辻卓馬　撮影：山川智輝　録音：夏原拓郎、岡添圭一　編集：岩田隼之介
ヘアメイク：福永リナ、藤井タカヒロ　衣装：筒井まゆ、福永リナ　音楽：久宝華恵　MA：夏原拓郎、澤田弘基　スタッフ：加藤佑太、高井友太、山田磨由子、櫻木千春、中島悠
スチール：三品翔　デザイン：竹田隆憲　コピーライター：竹田未知留　コーディネーター：北井康弘、山田将人　事務局：山内麻梨子
協力：株式会社トランク、スタジオシン、中日新聞社、WKY、NPO法人アスクネット、大府の高校生たち、おおぶ映画祭、愛三文化会館、大府市
制作：Future Cinema Project　株式会社フォーカルノート

協賛ご協力のお願い 協賛いただける企業や団体、個人を募集しています。詳細は右記QRコードよりホームページにてご確認ください。

おおぶ映画祭2021　Obu Film Festival　映画に、恋をしよう。

2021年3月開催予定